

読みとりのわざい

年組（ ）

おんどくのおざ

1年①

☆おんどくとは、こえにだしてよむことではないようにただしくよむことができたり、きいているあいてにもぶんしようのないようにただしくつたえたりすることができます。

おんどくのおざをみにつけよう。

①ほんを、りようでもつ

②しせいをととのえる

③ことばのまとまりをたいせつにして、ゆっくりとよむ

④くちをおおきくあけて、はつきりとしたこえでよむ

⑤てん（ ）まる（ ）はあいだをあけてよむ

大じなことばをかきぬくわざ

1年②

☆文しようの中には、「とい」のこたえとして、大じなことばがかくされています。ことばのいみを正しく学しゅうして、大じなことばを見つけよう。

大じなことばをかきぬこう

- ① みだしは、□でかこむ。
- ② きょうかしよのことばをつかう。
- ③ たいせつなことばをかきぬく。
- ④ 文のおわりは、みじかくしてよい。

(れい) たくさん ~~あります~~。



たくさん がある。

おもったこと・かんがえたことを

かくわざ

1年③2年①

ぶんをよんで、おもったこと・かんがえたこと	
はじめてしったこと	〇〇は、はじめてしりました。〇〇〇とおもいました。
くらべておもったこと	〇〇とくらべて、〇〇〇とおもいました。それは、〇〇だとおもいました。 (れい)トラックはじょうよう車とくらべて、タイヤの数が多いです。それは、おもたいにもつをたくさんはこぶからだとおもいました。
すごいとおもったこと	〇〇は、すごいとおもいます。
おどろいたこと	〇〇〇は、おどろきました。…だからです。 (れい)あさがおのつるが左まきなのは、おどろきました。どちらからもまきつく、おもったからです。
ふしぎにおもったこと	〇〇〇は、ふしぎです。なぜかというと…だからです。
しっていたこと	〇〇は、しっていました。 なぜかというと…だからです。 (れい)あさがおのつぼみが、右まわりなのはしっていました。なぜかという、おうちでそだてたあさがおが、みんな右まわりだったからです。
ほかにもしっていること	ほかにも、〇〇〇についてしっています。 なぜしっているかという、…だからです。 (れい)ほかにも、あさがおのたねが、百こくらいできることをしっています。 本で見たことがあるからです。
ほかにもしりたいこと	〇〇〇についてもしりたいです。 なぜかという、…だからです。

じゅんじよをあらわすことばを 見つけるわざ

2年②

☆せつめい文では、じゅんじよをあらわすことばや時間をあらわすことばが、文のはじめにつかわれ、文しようのいみのまとまりをはっきりさせ、せつめいするな
いようを分かりやすくしています。

時 (いつ) をあらわすことば

春になると、このころになると、やがて、つぎの日、〇〇の日には、
朝、夕方になると、一日のおわりに など

☆見つけたら ○ で、かこみましょう。

ものごと (できごと) のじゅんじよをあらわすことば

はじめに、まず、さいしょに、つぎに、そのあとで、そのあとに、それから、
こんどは、そのつぎに、さいごに、おしまい に など

☆見つけたら □ で、かこみましょう。

サイドラインをひいて分かりやすく

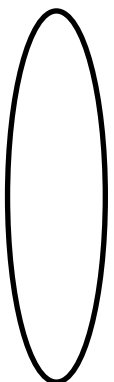
読むわざ

2年③

☆なんのことに書いて書いてあるかサイドラインをひいてたしかめ

ながら読むと、文を正しく読みとることができます。

時(いつ) をあらわすことば



春になると、このころになると、やがて、つぎの日、
○○の日には、朝、夕方になると、一日のおわりに など

ようす をあらわす文



たんぽぽがどうなっているか分かる文をみつけましょう。

〈れい〉たんぽぽの花のじくは、ぐったりとじめんにたおれて
しまいます。

りゆうをあらわす文



……のです。それは、……からです。

文章の組み立てが分かるわざ

3年①

☆「段落」^{だんらく}とは、文章^{しょうく}を組み立てているまとまり。

段落のはじまりを、見つけましょう。

段落は、はじめを一字下げで表しています。

☆せつ明文は、大きく分けて三つのまとまりに分かれます。

何についての文章かをつかむために、三つのまとまりに分けましょう。

①はじめ

- ・ 問いが書いてある段落
 - ・ 文章のしよいかいをしている段落
 - ・ 考えてほしい内ようを書いている段落
 - ・ 筆者が文章を書いたわけやきつかけを書いている段落
- 「〜でしょうか」「〜でしょう。」「〜してみましよう。」

②中

- ・ 問いの答えをさがして、実験や研究の内ようを書いている段落
 - ・ せつ明や答えを、れいをあげて書いてある段落
- ※せつ明する内ようが、二つい上書かれています。
- 「〜をしました。」「〜が分かりました。」

③終わり^お

- ・ 問いの答えをまとめている段落
 - ・ 文章全体をまとめている段落
- ※筆者が読者につたえたい内ようや考えが書かれています。
- 「このようこ」「〜なのです。」

大事な文・言葉を見つけるわざ

3年②

☆大事な文や言葉を見つけると、文章を短くまとめられます。

中心文を見つけてみましょう。

「中心文」とは、段落の中で、一番筆者が伝えたい文。

- ① 筆者が伝えたいことが書いてある。
- ② その文をぬくと、文章の意味が通らなくなる。
- ③ 「はじめ」に書かれた問いとかん係している。

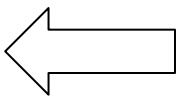
キーワードを見つけてみましょう。

「キーワード」とは、筆者が読者につたえたい、大切な言葉。

- ① 筆者が伝えたいことを表している。
- ② 何度も出てくる。
- ③ 題名とかん係している。

大事な文や言葉を使って、

短くまとめると・・・



☆小見出しを順じゆんに見ると、その文章に書いてある大体と、文章の組み立てがわかります。

小見出しは、次のことに気をつけてつけましょう。

「小見出し」とは、まとめごとにつけた見出し。

- ・段落に、どんな内容が書いてあるか、読み取る。
- ・まとまりの内容を短い言葉で言いかえる。
- ・本文中にあるキーワードを用いる。

感想を書くわざ

感想を書いて読み合い、いろいろな感じ方を知ろう。

① 言いたいこと（書くことの内容）を決める。

- ・たとえば、「思ったこと」「分かったこと」「さらに知りたいこと」などから、自分がつたえたいことをえらぶ。
- ・本文からはなれた内ようにならないように、気をつける。

② その理由やせつ明をつけ足す。

- ・本文のどこからそう思ったのか、書く。
- ・自分のけいけん（したり読んだり聞いたりしたこと）を、書くときよい。

③ 感想を交流する。

- ・同じところやちがうところを見つげながら、聞く。

【ちがい①】

言いたいこと（書いたことの内容）が、ちがう。

【ちがい②】

言いたいことは同じ。
注目した文がちがう。

【ちがい③】

言いたいことは同じ。
理由やせつ明の仕方がちがう。

事実と意見を読み分けるわざ

☆事実に対して、筆者がどのような意見をもっているかが分かると、段落同士の関係や、筆者の伝えたいことがよくわかるようになります。

事実と意見を、読み分けよう。

- ・事実・・・あったことや経験したこと分かったことなど
- ・意見・・・筆者の思いや考え

☆文の終わりのことば(文末表現)をみると見分けるヒントがあるかもしれません。

事実	意見
<ul style="list-style-type: none">・～することになりました。・～のです。・～だとわかりました。・～ことになりました。・～してみました。・～というわけです。・～からです。・～されていません。・～といわれています。・～と考えられています。・～しています。・～なのです。・～いられていたのです。	<ul style="list-style-type: none">・～なのではないかと考えました。・～しているにちがいありません。・～おどろかされます。～おどろかされる。・～と感じました。・～と思いつきました。・～と思いました。・～に気がつきました。・～と考えました。・～てみましょう。・～と思われました。・～と考えられました。・～いるはずです。

☆前後の文章をよく読んで、読み分けましょう。

接続語せつぞくごのはたらきを考えてみよう。

・**順接**じゆんせつ…前のことがらが原因や理由となり、その結果が後にくる時に使う言葉
「だから」「すると」「それで」「そこで」「したがって」「ですから」等

・**逆接**ぎやくせつ…前のことがらと反対のことがらが後に来る時に使う言葉
「しかし」「でも」「けれど」「だが」「だけど」「ところが」「けれども」等

・**追加**ついか…前のことがらに新しいことがらを付け加える時に使う言葉
「また」「ならば」「そして」「それから」「さらに」等

・**転換**てんかん…話題を変える時に使う言葉
「さて」「ところで」「では」「ときに」等

・**説明**せつめい…理由や説明をつけたす時に使う言葉

・**まとめ**…まとめる時に使う言葉
「なぜなら」「たとえば」「つまり」「すなわち」「このように」等

段落どうしの関係を考えるわざ

4年①

☆段落と段落は、互いに関係しています。まとまりごとに何が書かれているかをとらえ、さらに、まとまりどうしがどんな関係かを考えると、文章の組み立てがよくわかります。

「対比」^{たいひ}の関係になっている表現をみつけよう。

二つのことを比べて書いてある文章や段落

「二方々」^{ひかく}「比較して」「ところが」

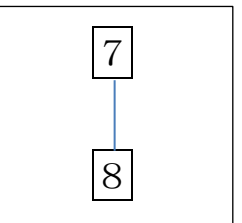
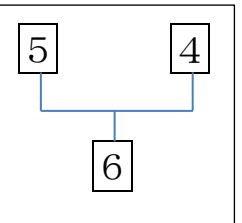
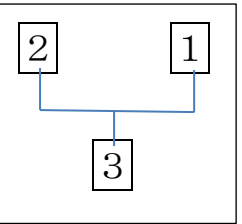
「類比」^{るいひ}の関係になっている表現をみつけよう。

二つ以上の似ていることを、別の例などを使って書いてある文章や段落

段落の内容を読み取り、段落のつながりを考えよう。

- ① 反対の内容が書かれている。(対比の関係) … ①と②、④と⑤
- ② 似ている内容が書かれている。(類似の関係) … ⑥と⑦
- ③ いくつかの関係をまとめた内容が書かれている。… ③、⑥、⑧(全体のまとめ)
- ④ ちがう例をあげて書かれている。… ⑦
- ⑤ 問いと答えの関係で書かれている。… ③の問いに対して④、⑤

(例)「アップとルーズで伝える」



要点をまとめるわざ

4年②

☆要点とは段落の中で、筆者がいたいことを短くまとめたものです。

重要な言葉（キーワード）や文を探そう。

「キーワード」とは、筆者が読者につたえたい、大切な言葉。

- ① 筆者が つたえたいことを表している。
- ② 何度も出てくる。」
- ③ 題名とかん係している。

探した言葉（キーワード）や文を短くまとめよう。

学習課題の答えになるように、探した言葉（キーワード）や文をできるだけ短くまとめましょう。

要旨に関係する言葉や文を 見つけるわざ

5年①

☆要旨とは、文章全体の中で、筆者が一番伝えたいこと。

要旨を見つけるために、大切な言葉に着目しよう。

① 題名の言葉

・題名は「 」

② 「始まり」「まとめ」の段落にある文・言葉

		始まり	何段落かな
	中	①	
まとめ		説明の中心となること、問題提起	
		具体的な説明	
		具体的な説明を違う言葉でまとめている	

着目するとよい文、言葉

③ くり返し出てくる言葉

要旨を書きまとめるわざ

5年②

☆要旨とは、文章全体の中で、筆者が一番伝えたいこと。

☆要旨を書きまとめよう。

① 探す

・題名の言葉、「始まり」「まとめ」の段落にある文・言葉、くり返し出てくる言葉を探そう。「要旨に関係する言葉を見つけるわざ」を活用しよう。

② 書き出す

・探した文や言葉を、学習ノートに写そう。文のつながりが上手くいなくても、後で整えるので、そのままでも大丈夫。

③ けずる

・同じ言葉や同じ意味の言葉は、どちらかにまとめよう。何度も同じことを言っていないか読み返してみよう。

④ 整える

・主語、述語は自然につながっているだろうか。最後に読み返し、加えた方がよい言葉はないか、けずった方がよい言葉はないか確認しよう。

説明のしかたのわざ

5年③

☆筆者は、自分の考えを読み手にとらえてもらうことができるよう、説明のしかたを工夫しています。

説明の仕方の工夫を見つけよう。

① 構成の工夫

・ 問い 読み手に疑問をもたせるために問いを入れている。

問いに対する答えがある。(答えが短くまとめられている文に注目)

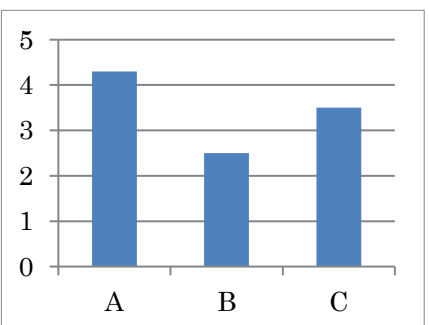
② 文章以外の資料の工夫

・ 筆者が示したい事実が、資料によってより分かりやすくなっている。

表

年	%
2011	40.2
2012	45.0
2013	48.9
2014	51.1

グラフ



他に写真や図など

③ 数値の工夫

・ 具体的に数値を示している。数値が示されている文といない文は、どちらの方が分かりやすいだろうか。

自分の考えをもつわざ

5年④

☆筆者の説明のしかたに対して自分の考えをもつには……。

☆表・写真・図・グラフから分かることを見つけよう。

① 筆者の説明に用いられている、表・写真・図・グラフをぬきだす。

・ なんの説明に用いられているのかを確認する。

表

表の題名は何か。

どの説明を分かりやすく示している表か確かめる。

何の写真か。

写真

その写真をのせた筆者の意図を読みとる。

何を表した図か。

図

どの説明に関係している図か確かめる。

グラフの題名は何か。

グラフ

どの説明の元になっているデータか確認する。

② 表・写真・図・グラフの効果について考える。

・ 本文の内容と関係しているところを見つけ、説明のとおりか確かめる。

・ 表・写真・図・グラフがあることで、より分かりやすくなったことや、納得でき
たことを考える。

・ 「もっとこういう写真やグラフがあったらいいな」とか「他に表や図を工夫して
入れられるところはないか」と自分で考えてみる。

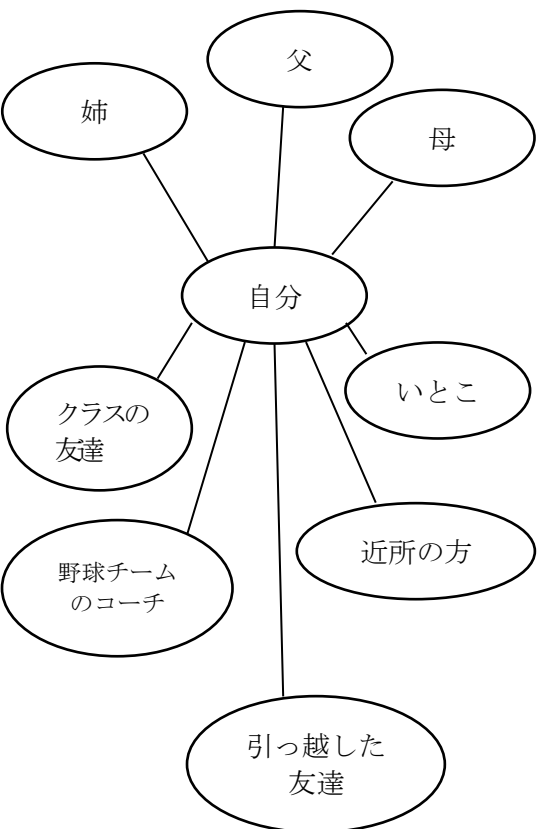
マップを使って具体例をおぎなうわざ

☆自分との関係性が分かりやすくなるように書いていく。

☆身近な例に置きかえてマップを完成させていこう。

(例) 「ゆるやかにつながるインターネット」

①自分をマップの中心において、つながりのある身近な人を自分の周りに配置する。



②その人との関係性が分かるように、マップに情報を書きこむ。

・その人たちと「どんな手段」でコミュニケーションをしているかを書く。
電話 直接会う 手紙 メール など

・コミュニケーションのだいたい回数や内容を書いてみる。

〈回数〉 毎日 二、三日に一回 ときどき 週一回 年一回 など
〈内容〉 あいさつ 最近あった出来事 悩み事 相談 学校のこと 勉強のこと 習い事 けんか など

・コミュニケーションをして良かったと感じることを書く。

楽しい 安心する ほっとする 気が楽になる 迷いがなくなる など

③「強いつながり」の人に赤、「ゆるやかなつながり」の人に青で丸をつける。

自分の考えを書くわざ

5年⑥

☆筆者の論のすすめ方や説明のしかたについて自分の考えをかくには……。

☆自分の考えを整理して書こう。

① 本文の説明のしかたで工夫しているところを見つける。

・他の説明文とちがうところはどこか。

・説明で分かりやすかったところはどんなところか。

(例 読者への問い・答えの書き方 など)

② 「説明のしかたの工夫」の効果と筆者のねらいを書く。

・工夫したことから、何が読者に伝わりやすくなっているか。

・筆者はどんな目的で説明のしかたを工夫したのか。

・感じたこと・思ったことを書いてもよい。

③ 自分の経験に結びつけたり、身近な例に置きかえたりして書いてみる。

・これまで読んだ説明文を思い起こすと……。

・身近な読み物(本・雑誌・新聞・教科書・資料など)で似たような「説明のしかたの工夫」がなかったか。

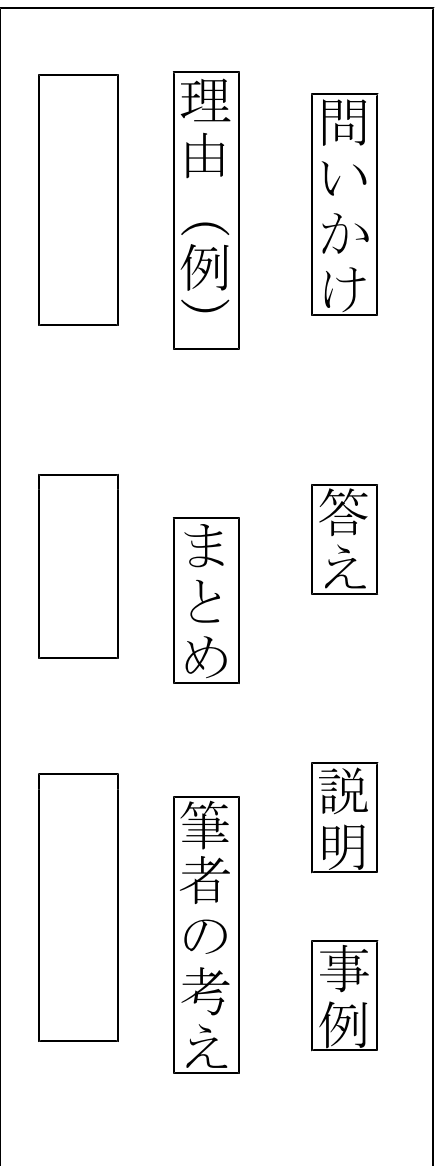
④ これからの学習の目標を書く。

・これから学習していく説明文のどこに注目して読んでいこうか。

・自分でも何かをまとめたり、説明したりするとき、何を生かそうか。

説明文の構成を知るわざ

○説明文には



がちりばめられています。

①まずは、問いかけの文を見つけてみましょう。

キーワードは、「くでしょうか。」「なぜく」「いったいく」

②次に、

キーワードは、「く」「く」「く」

*筆者の考えを強めるために、
考えがよくわからない場合は、
どんなことを主張しているのか、
考えてみましょう。
あるよ。筆者の
をよく読んで

○自分で見つけたポイント！

--

筆者の意見はどこに書いてあるか見つけるわざ

筆者の言いたいことはこんな言葉のそばにかくれています。

① 文末表現

「〜である。」「〜のだ。」「〜なのです。」など、はっきり言っているとき。

② 接続詞

「つまり」「このようにして」「だからこそ」など、今まで述べてきたことをまとめているような接続詞の後の言葉や文。

③ くり返し出てくる言葉が集まっているところ

文章の中くり返し出てくる言葉は、文章の中心になる話題であることが多い。

④ 事例を言いかえてまとめている言葉や文

事例をいくつか出しながら、その後まとめてある文や言葉の中には筆者の言いたいことがかくれていることが多い。

こんなキーワードに注意して読むと、筆者の言いたいことがより、わかるようになります。

○自分で見つけたポイント！

自分の考えをもつわざ

六年①

読んだ文章に対して、自分の考えをもつには・・・

①筆者の考えに賛成か反対かを考える。

- ・(賛成) 筆者の言う通り！ わかる！ なるほど
- ・(反対) そうかなあ・・・ ちよつと違うと思うんだよね。
- ・(賛成も反対も) この部分はわかるけど、ここは違うと思う。

②一言理由を述べる。

- ・なぜかというと・・・

③自分が知っていることや経験したことなどをつけ加えて述べる。

- ・前にこんな経験をしたことがあるのだけど・・・
- ・こんな話を聞いたことがあります。
- ・この間読んだ本に書いてあったのだけど・・・

④さらに自分の考えを強く述べる。

- ・だから私は、こう思います。

★自分の経験などを入れて述べることができるとよいです。そのためには、日ごろからいろいろなニュースを見たり、本を読んだりしていききたいですね。

話し合いのわざ

六年②

話し合いで自分の意見をきちんと伝えるには・・・

①自分の考えを話すとき

- ◆自分の立場を明確にする。
 - ・「私は賛成（反対）です」「私は○○だと思います」
- ◆理由を話す。
 - ・「なぜかと言うと○○だからです」
 - ・「こんな経験をしたことがあったので○○だと思います」

②質問するとき

- ◆相手の意見のどの部分に質問したいのかをはっきりさせる。
 - ・「○○と言っていました、それはどういうことですか」
 - ・「○○のところがよく分からなかったので、もう一度話してください」
 - ・「確かに○○だと思いますが、私は○○だと思います。それについてはどう思いますか」
- ◆なぜ質問するのかを話す。
 - ・「私は○○と思うのだけれど、なぜそう思うのですか」

③自分と同じ考えが出されたとき

- ◆自分と同じ部分をはっきりさせ、賛成意見を話す。
 - ・「○○という部分は私と同じ考えです（賛成です）」
 - ・「○○という部分は私も納得できます」

④自分の考えを変えたとき

- ◆変えた理由をはっきりさせて話す。
 - ・「私は○○と思っていました、○○という意見を聞いて○○という考えに変わりました」

⑤自分の考えがより強まったとき

- ◆強まった理由をはっきりさせて話す。
 - ・「私はやっぱり○○だと思います。なぜなら○○だからです」

筆者の見方を正しくとらえるわざ

「鳥獣戯画を読む」には、絵から読み取れる**事実**と筆者の**感動**や**評価**が入り交じって書かれている。それぞれの**特徴**をつかんで、筆者の見方を正しくとらえよう。

事実 ↓ 絵に実際に描かれていること。誰が見ても変わらないもの。

感動・評価 ↓ 絵から筆者が感じたこと、考えたこと。

① 感動・評価はこんな言葉のそばにかくれています。

「感動・評価を表す表現」

- ・ 感じる(感じられる)
- ・ 伝わってくる
- ・ 印象を受ける
- ・ 〴〵ではないだろうか。
- ・ 〴〵だろうか。
- ・ 〴〵かもしれない。
- ・ 〴〵にちがいない。
- ・ 〴〵だろうか。
- ・ 〴〵せずにはいられない。

② 読者の目のある場所に向けさせたい場合には、こんな言葉が用いられることが多いです。

「見る場所や見る方法を表す表現」

「〴〵を見ると、」「〴〵に目を向けると、」「〴〵してみると、」「〴〵だけに注目すると、」

○自分で見つけたポイント！